

恵庭市長定例記者会見（R4. 6. 22）



お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

今議会におきましては、追加議案1件を含む10件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、「令和4年度一般会計補正予算」などがありましたが、その全ての議案につ

いてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

初めに、「新型コロナウイルス感染症に係る項目2点」について申し上げます。まず、「子育て世帯生活支援特別給付金事業」についてであります。

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子育て世帯の雇用動向の悪化や、食費等の物価高騰等に直面する、低所得のひとり親世帯や低所得の子育て世帯家庭への生活支援を行う観点から、国の臨時・特別的な措置として、対象児童一人当たり一律5万円の給付金を支給いたします。

また、「北海道子育て世帯臨時特別給付金」として、児童一人当たり一律1万円の給付金を、国の給付金に上乗せする形で、一括して計6万円を支給いたします。

スケジュールといたしましては、児童扶養手当を支給しているひとり親世帯へは、6月17日付けで対象世帯に対し、すでに通知文書を送付しており、6月30日に支給を予定しております。また、それ以外の対象者へは、7月下旬に通知文書を発送し、以後、順次、申請受付及び支給を予定しております。

次に、「経済対策」についてであります。

はじめに、北海道の支援策についてであります。直近では、令和4年1月27日から3月21日まで、再度まん延防止等重点措置が適用されたことにより北海道より飲

食店事業者等への営業時間の時短要請などがされ、それに伴う支援金の申請期限を令和4年4月30日としておりましたところ、1月から2月分・2月から3月分・3月分で187件の申請がされているところです。

また、本市では独自に令和4年4月18日から、緊急事態宣言並びにまん延防止等重点措置による休業、時短営業による協力支援金を受給した飲食店等以外の事業者で、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した小規模事業者に対し1店舗につき20万円の支援金を支給しているところでありまして、令和4年6月13日時点で578件となっております。

次に、「**恵庭市公式アプリ**」についてであります。

本市では、市の様々な情報発信するツールとして、開発してきた恵庭市公式アプリ『えにわか』が6月15日に完成しました。

本アプリは、ホーム画面にアイコンを11個配置し、防災・災害情報やごみ分別・リサイクル情報、健康・子育て情報、公共施設といった恵庭市からのお知らせのほか、イベント、観光グルメ、ふるさと納税返礼品サイトなど各種の情報を知ることができるほか、地図上で店舗や各種施設の検索やルート案内ができるなど、利用者の知りたい情報を様々な角度からわかりやすく得られる内容となっております。

今週の土曜日からは、ガーデンフェスタ北海道2022が開催されますが、そのメイン会場である「はなふる」におきまして、フェア期間中10日間、来場される市民をはじめ、市外の方々に対しても本アプリのリリースについてPRするほか、市ホームページや広報、各メディアなど様々なツールを活用し、積極的に周知を図って参りたいと考えております。

また、今後は、恵庭の特産品が購入できる「お買い物」機能、ご自身の健康管理などの情報を入力できる機能やポイント付与機能など、アプリ機能の拡大について検討を進め、より充実したアプリとなるよう取り組んで参ります。

3点目は、「**ゼロカーボンシティ宣言**」についてであります。

近年、地球温暖化による気候変動は、世界的に深刻な自然災害をもたらしており、国内においても猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発するなど、温暖化への対応が急務となっています。

国際的には、世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5℃までに抑えることが目標として広く共有され、そのためには2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが求められております。我が国においても2050年までにカーボンニュートラルを目指すこととし、環境省では全国の都道府県や市町村に対し「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」を表明することを呼びかけており、また、本市におきましても、先般パブリックコメントを行い、今後公表を予定してい

る「第3次恵庭市環境基本計画（兼地球温暖化対策実行計画区域施策編）」において温室効果ガスの排出量削減を目指すこととしております。

以上のことから本市においては、地球環境をより良くするとともに、わたしたちのまちが「花・水・緑・人がつながり夢ふくらむまちえにわ」であり続けるために、市民・事業者・市が力を合わせ一丸となって2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現に向けて、全力で取り組むことを、本日、ここに宣言します。

今後、近距離使用の公用車の更新時にはEV化を図ってまいりたいと考えております。

4点目は「市内小・中学校および教育・保育施設に係る食材高騰対策事業の実施」についてであります。

新型コロナウイルス感染症の長期化等の影響で、食材費等が高騰する中であって、市内小・中学校、及び幼稚園・保育園等の教育・保育施設における給食の栄養バランスや摂取量の維持を目的として、国の交付金などを活用し、高騰する食材費増額分の支援措置を実施いたします。

支援の内容といたしましては、令和4年4月分の「北海道における食品全般の消費者物価指数」の前年当月比の物価上昇率「4.6%」で算出した額を基準額とし、市内小・中学校並びに未就学児を受け入れている市内教育・保育施設における給食食材費の一部を支援するものです。

本事業の実施により、保護者や利用者の負担を増やすことなく、安心・安全な給食の提供につなげて参りたいと考えております。

5点目は、「夏のイベント」についてであります。

長引く新型コロナウイルスの影響により、地域活動が大きく制限を受けており、本年も残念ながら「おんこ祭」、「恵庭駅前通り夏祭り」、「えにわ農業まつり」や「しままつ鳴子まつり」が中止となりますが、市内各所ではイベント再開に向けた気運が高まりつつあり、地域活性化に繋がる夏のイベントがいくつか開催される予定となっております。

恵み野地区では、多くの来訪者が見込まれるガーデンフェスタ北海道2022の期間中に、「恵み野夏まつり」が予定されており、恵庭地区では8月7日に3年振りとなる「えにわマルシェ」が（えにあす）を会場に開催されます。

また、8月15日には島松地区で「島松駅前盆踊り」が、規模を縮小しての開催を予定しており、8月20日には例年好評を博している恵庭商工会議所 青年部主催の「恵庭YEGフェスティバル」が一部企画の中止はありますが、はなふるを会場に飲食店舗の出店やステージイベントなどの催しを伴って開催されることとなっております。

そのほか、恵庭三四会による納涼花火大会につきましては、現在、実施について検討中であると聞いておりますが、本市の夏の風物詩である花火大会は、多くの市民も楽しみにしていることから、実施については期待をしているところです。

コロナ禍ではありますが、それぞれの地域で特色のある夏のイベントが開催されます。多くの賑わいと共に地域活力の醸成に繋がるよう、行政として支援して参りたいと考えております。

6点目は、「**ガーデンフェスタ北海道2022**」についてであります。

いよいよ、今週末の土曜日、6月25日からガーデンフェスタ北海道 2022が開幕いたします。

これまで、多くの皆さまのご協力をいただき、準備を進めて参りました。

お手元に「公式ガイドブック」をお配りさせていただいたところです。

期間中は、メイン会場では約20万株、900種類の花と多くのイベントで、ご来場の皆さまをお迎えするほか、花と緑の文化に触れていただける道内各地の国営・道立公園、民間庭園の32か所を「協賛会場」として連携しています。ぜひ各地の庭園・公園へ北海道の花めぐり・庭めぐりにお出かけいただければと思います。

恵庭市民の皆さまには、明日以降、「公式ガイドブック」を全戸配布させていただく予定となっております。

また、明日23日11時より、ガーデンフェスタ開幕に先立ち関係者やマスコミの皆さまにメイン会場をご覧ください「内覧会」を開催いたしますので、是非ご参加いただきたいと存じます。

7点目は、「**恵庭市内小学校における救命講習授業導入**」についてであります。

恵庭市では、救命率の向上を目的として、「市民のだれもが応急手当ができるまち」を目指し、消防職員と女性消防団員を中心に、市民の皆様、また、市内の事業所、町内会などへ救命講習の受講を推進しているところでございます。

この新たな取り組みとしまして、当市では、平成30年度から小学校での授業の一環として、子どもたちに救命講習を体験してもらうことで、いのちの大切さを学び、子どもたちが安全安心な学校生活を送ることができるよう、市内小学校の協力を得ながら、授業で救命講習を円滑かつ効果的に実施することができるよう試行を重ねてまいりました。

昨年度、試行期間を終えまして、令和4年度から、全国的にも実例の少ない、小学校の高学年児童を対象とした救命講習の授業導入を行う運びとなり、すでに2学校の講習を終えております。

この取り組みは、将来、社会で活躍する子どもたちの可能性を広げるのみならず、授業を終えたお子さんを通して、「今日、学校でこんなことをしてきたよ！」などとい

った親子の会話から、当市では特に受講率の少ない、多忙な子育て世代の父親、母親の皆様にも、救命講習に少しでも興味を持っていただく狙いもございます。

恵庭市の学校を卒業した子どもたちが、授業として、いのちの大切さを学び、いざという時に救急隊が到着するまでの間、適切な処置を行うことで、将来、社会における救命の連鎖をより強固にし、救命率の向上に寄与できる取り組みであると考えております。

今後も、救命率の向上のため、応急手当の普及推進のための取り組みや、PRしてまいりますので、市民の皆様には、ぜひ積極的に救命講習を受講していただければと考えております。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

●質疑応答

発表項目について

(記者) 公式アプリ、6月15日から運用開始。5月の市広報で運用開始を公表していたが、15日からとなった。また、アンドロイド版について遅れている理由は？

(市長) 令和3年度の事業として開発を始めたものですが、事業者が変わるなどの経緯もあり、遅れています。また、開発事業者とアプリ審査先との調整にも時間を要したのが原因です。

(記者) アンドロイド版の用途は？

(部長) アンドロイド版はGoogle Playの審査が混みあっており、時間を要しているため、いつまでということを上申されず申し訳ございません。ホームページからもダウンロードできるように対応していきたいと考えています。

(記者) ガーデンフェスタ中にもPRを行うということだができるのか？

(市長) 行っていきたいと考えています。

(記者) 市民からの問い合わせは？

(主査) 電話で1件、いつから使えるかという問合せがありました。

(記者) ゼロカーボン宣言はどのような経緯で宣言することとしたのか？

(市長) 第3期環境基本計画において、記載していたことと、国などの動きも踏まえて、宣言することとしました。

(記者) 今年度の具体的な取り組みは？

(市長) 公用車の更新時にEV化を考えています。今年度あれば行っていきたいと考えています。また、リース車についても対応できる部分は行っていきたいと考えています。公用車は全体で30～40台あるので、更新時に随時対応していきたいと思っています。

(記者) その他のスケジュールは？

(部長) 公共施設中心に太陽発電のモデルケースを進めたいと考えています。市民・

事業者さまにも行動をお願いしていきたい。事業者さまには事業で排出するCO₂を見える化する取り組みを進めます。また、市民にはクールチョイスの取り組みの一環として、排出したCO₂を見ることができるアプリの周知、それを元にした改善をお願いしていく。アクションプランの策定なども予定しています。

(市長) アクションプランを立て、ロードマップを作っていくということを今年度中に行っていきたい。

(記者) 公式アプリについて、現時点で完成形ということでしょうか？

(部長) 第1弾の情報発信機能については、完成しています。

(記者) 緊急情報は現在、載っていないがどのような情報を載せる予定か？

(主査) 大雪情報などの情報をプッシュ型の情報発信をしていく。

(記者) 現在のアプリはリンク集になっており、多額の事業費をかけた効果があるのか疑問。

(部長) 特産品を購入できる機能、健康アプリ機能など付与していく予定です。

(記者) 食材高騰に伴う事業について、物価上昇率に応じた対応とのことだったが、具体的な金額は決まっているか？

(部長) 小中学校は、3月の物価上昇率が3.6%、4月以降が4.6%となっており、当初の予定していたとおりの食材提供が困難になってしまっていました。栄養のバランスや摂取量を維持するため、小学校低学年は265円、中学年は270円、高学年275円、中学校337円、それぞれの単価に4.6%をかけて出た金額が小学校は870万円、中学校は572万円、で総額1400万円を補正したところです。

(部長) 市内の幼稚園、保育園についても同様の考え方で実施する予定です。副食費相当額4,500円に物価勝率4.6%をかけ、年間600万円として算定しています。

(記者) 恵庭市独自に実施しているのか？

(市長) 新型コロナ臨時交付金を財源とした事業です。

(記者) ガーデンフェスタがいよいよ開催となります。駐車場について記事にもしましたが、臨時駐車場を見させてもらいましたが、渋滞が心配です。

(市長) 国道から入る道が狭くなることから渋滞が心配。札幌方面から来る方、千歳方面から来る方で駐車場所も変えながら対応する予定です。渋滞しないようにする工夫をしていきたいと考えています。誘導員もかなり配置しながら、誘導する予定です。市内の方については、土日はエコバスの利用も促していきたいと考えています。

(室長) 札幌方面から来る方が右折すると渋滞を起こしてしまうので、左折で特設駐車場へ、千歳方面からは左折で中島公園駐車場へ、駅からは無料のシャトルバスも出ているので活用してほしい。

(記者) 公式ガイドブックについて、明日以降が配布となっているが、周知が遅れてしまっている印象。早めのほうが市民の方にとって良かったのでは。

(市長) イベント内容について、詳細に掲載しているので、遅くなった部分はありません。今日・明日以降、テレビでも取り上げて頂けるので、周知など深まるのではないかと考えています。できるだけ、たくさんの人に来て頂きたいと考えています。

(記者) まちなかエリアについて、交通誘導はどのように行うのか？

(次長) 恵み野駅からはなふるまでは歩いて会場に来て頂く想定です。プランターや町内会のボランティアの方の誘導を予定しています。はなマップの中でも住宅街についてはマナーと節度をお願いしています。

(記者) 地元住民から心配する声もあるので、対応をお願いします。

その他について

(記者) 発表項目が変更になった点について、事前に幹事社に事前相談などあったほうがよかったのでは？

(課長) 削除した項目についてはすでに周知をたくさんしていただいた案件なので、削らせて頂きました。

以 上